



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 デイ・シイ  
代表者名 代表取締役社長 森 紀雄  
(東証一部・コード番号：5234)  
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 仁田峠宏司  
電話番号 TEL (044) 223-4751

### デイ・シイグループ中期経営計画について

当社グループは、このたび 2010 年度から 2012 年度までの新中期経営計画(12 デイ・シイグループ中計)を策定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 目指すべきグループ像と基本方針

##### (1) 目指すべきグループ像

「関東における建設基礎資材総合サプライヤーの地位の確立」

##### (2) 基本方針

###### 1) 新中期経営計画の位置づけ

事業構造改革の基礎固めの 3 ケ年

###### 2) 基本方針

12 デイ・シイグループ中計では、激変する経済環境に対応すべく事業構造改革を行ない、早期に赤字部門からの脱却を確実にし、「顧客志向の提案営業を基本に、安定した品質、卓越した技術サポート、確実な納期を提供することによって、顧客満足度 NO. 1 を実現し、収益基盤を維持・向上させる」ことといたします。

#### 2. テーマ

- (1) 低炭素社会に合った事業構造への変革を目指し、スラグ混合関連製品に軸足を置いた事業経営への転換
- (2) セメント、骨材、その他建設基礎資材の総合的な営業展開
- (3) 低炭素社会への積極的な取り組み
- (4) セメント関連以外の環境リサイクル事業の領域の拡大

### 3. 経営目標

(単位：百万円)

	09年度実績	12年度計画	増減
売上高	40,892	37,600	△3,292
営業利益	721	1,200	479
経常利益	1,143	1,600	457
純利益	448	1,300	852
営業CF	5,315	3,300	△2,015
有利子負債残高	13,402	13,000	△402
営業利益率	1.7%	3.1%	1.4%
ROA(総資産利益率)	2.5%	3.5%	1.0%
ROE(自己資本純利益率)	2.4%	6.7%	4.3%

### 4. セグメント別売上高・営業利益・経常利益

(単位：百万円)

売 上 高			
	09年度実績	12年度計画	増減
セメント関連事業	12,439	9,400	△3,039
骨材事業	9,696	8,400	△1,296
環境リサイクル事業	3,966	4,200	234
不動産事業	783	800	17
生コンクリート事業	9,936	11,400	1,464
管路事業	2,264	2,400	136
その他	1,805	1,000	△805
合計	40,892	37,600	△3,292

(単位：百万円)

	営業利益			経常利益
	09年度実績	12年度計画	増減	12年度計画
セメント関連事業	759	260	△499	200
骨材事業	116	80	△36	60
環境リサイクル事業	234	200	△34	190
不動産事業	446	450	4	420
生コンクリート事業	△493	150	643	140
管路事業	△389	20	409	530
その他	56	40	△16	25
消去または全社	△8		8	35
合計	721	1,200	479	1,600

## 5. セグメント別基本戦略

### (1) セメント関連事業

#### ① 前提となる需要想定

地区別セメント販売数量推移と需要想定

(単位：千 t)

	国内計	1都3県	埼玉	千葉	東京	神奈川
06年度	57,967	12,803	2,752	3,385	4,128	3,537
07年度	54,575	12,005	2,667	2,201	3,981	3,156
08年度	49,163	11,240	2,433	1,965	3,864	2,977
09年度	41,972	9,507	2,047	1,518	3,449	2,514
10年度想定	40,000	8,400	*****	*****	*****	*****
12年度想定	40,000	8,400	*****	*****	*****	*****

12年度は10年度と同水準で推移と想定する

#### ② 基本戦略

[低炭素社会に合った事業構造への変革を目指し、スラグ混合関連製品に軸足を置いた事業経営への転換の基礎固め]

- ・ 関東地域に立脚・密着した環境対応型商品の供給企業として、「セメント生産・物流・販売」のサプライチェーンを確立
- ・ 市場規模の縮小に伴う売上高の大幅な減少への対応(高付加価値商品の開発と拡販)
- ・ リサイクル資源の受入れ拡大、石炭代替率アップ等による原価低減を進め、利益構造の改善・利益率の向上
- ・ 企業継続に資する新事業・商品の開発と事業化(休止キルンの事業転換)

### (2) 骨材事業

[骨材資源の安定確保と利益率の向上]

- ・ 新たな骨材資源の確保
- ・ 輸送合理化(トラックの大型化等)
- ・ 環境負荷低減型資源(スラグ製品)の利用の推進

### (3) 環境リサイクル事業

[汚染土壌処理事業、廃プラ等産業廃棄物処理事業の維持拡大とセメント関連事業以外での領域拡大]

- ・ 汚染土壌処理・可燃産業廃棄物処理事業の維持拡大
- ・ セメント原燃料用リサイクル資源の枠を越えた事業領域の拡大(タイルカーペットリサイクル等)
- ・ 環境リサイクル事業分野での積極的なM&Aの実施

(4) 生コンクリート事業

- ・ 地区別生コンクリート出荷推移

(単位: 千 m<sup>3</sup>)

	国内計	1都3県	埼玉	千葉	東京	神奈川
06年度	121,902	30,336	4,518	5,563	12,504	7,749
07年度	111,880	27,409	4,476	4,782	11,369	6,782
08年度	101,009	24,154	3,779	3,876	10,610	5,888
09年度	86,030	20,024	3,294	2,958	8,934	4,836

10年度12年度は09年度と同水準で推移と想定する

- ・ 赤字体質の改善
- ・ 垂直統合型セメント企業グループの実現(セメント製造、骨材生産から生コンクリート製造販売まで)
- ・ 収益力の向上(工場集約等によるコストダウンの推進)

(5) 不動産事業

- ・ 安定収益の維持

(6) 管路事業

- ・ 雨水事業重点の収益構造改革と新製品開発
- ・ 赤字体質の改善
- ・ 生産構造の抜本的な見直し
- ・ 営業力の強化

6. 資本・投資・配当政策

(1) 資本政策

- ・ 財務体質の強化
- ・ 事業の選択と集中の徹底

(2) 投資政策

- ・ 事業構造改善、安定収益確保を基本とした設備投資
- ・ 環境リサイクル事業等での積極的なM&A

(3) 配当政策

- ・ 安定的配当の継続

7. CSR経営の推進

- ・ リスク管理の強化
- ・ 環境保全への取り組み
- ・ コンプライアンスの徹底

以上